

都中英研だより

第75号

東京都中学校英語教育研究会
会長 刀根 武史
(武蔵野市立第五中学校)

都中英研のさらなる充実・発展のために

東京都中学校英語教育研究会

会長 刀根 武史



令和3年度東京都中学校英語教育研究会（以下、都中英研とする。）会長を拝命いたしました武蔵野市立第五中学校長の刀根武史です。日頃より都中英研の活動につきまして、多くの皆様にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本会の歴代会長の皆様の意をつぎ、都中英研のさらなる充実・発展のために努力してまいります。どうぞよろしくお願

い申し上げます。

さて、本会の活動ですが、昨年度から新型コロナウイルス感染症への対応で例年通りの活動がなかなかできない状況にあります。しかし、今後の感染の状況を見ながら、できる限りの様々な感染防止への工夫・取り組みを進め、研修会等の実施について検討を進めてまいりたいと考えています。今後に予定の研修会、研究発表会につきましては、詳細が決まりましたら改めてご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

都中英研は東京都教育委員会研究推進団体の認定を受けた研究会です。会の目的は、中学校英語教育に関する事項を研究し、会員の識見の向上に努めると共に英語教育の振興を図ることとしています。特に、本会はこの



目的を達成するために、次の5つの事業を行っています。

都中英研の5つの事業

- ① 各種研修会の開催（研修会、発表会、講演会等）
- ② 調査活動（コミュニケーションテストの作成とその分析、調査活動等）
- ③ 研究活動（英語教育に関わる基礎的かつ実践的な課題等）
- ④ 各種英語教育団体との連絡
- ⑤ 機関誌発行、本会の目的達成に必要な事業

これら5つの事業の中でも④の「各種英語教育団体の連携」では平成29年度から役員会組織に小中連携担当を設け、小学校の研究会との関係を深めています。

また、この4月から全面実施となりました新しい学習指導要領による授業の進め方や評価・評定の在り方、東京都教育委員会が進める英語教育に関する各事業等の最新の情報を発信していくことも、私たちに与えられた大きな使命であると考えています。

都中英研では、教員の授業力を向上させるべくワークショップを企画・開催したり、会報等を通して様々な情報の発信に努めたりしてまいりましたが、引き続き皆様のお役に立てるような活動を積極的に進めてまいります。

都中英研が教育改革の先陣を切れるよう、日々研鑽を積み、前進していく所存です。関係の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

都中英研のさらなる充実・発展のために努力してまいりますので、これからも皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

簡単ではございますが、令和3年度のご挨拶とさせていただきます。

Tokyo English Channelの創設について

東京都教育庁指導部主任指導主事（国際教育事業担当） 窪田 香

1. ウェブサイト Tokyo English Channel の創設について

学校におけるデジタル活用が進む中、授業や家庭で使えるオンライン教材の拡充や学習機会の提供が必要となっている。東京都教育委員会では積極的に英語でコミュニケーションしようとする姿勢や、生きた英語力を児童・生徒が身に付けられるよう、英語学習コンテンツをウェブサイト上で一元的に掲載するとともに、オンラインイベントを実施し、小学生から高校生まで一人一人の習熟の程度や興味・関心に応じた多様な学習機会を拡充させていく。



<https://tec.metro.tokyo.lg.jp/>

(1) 動画コンテンツ

○ TokyoGlobalStudio（既存教材）

東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) の施設、外国人スタッフ等を活用して作成した英語を使う楽しさや有用性を体感できる動画教材 100 本シリーズを掲載する。（中学校向けコンテンツは、中学校において習う主な文法項目を網羅した全 40 本）

○ Welcome to Tokyo（既存教材）

東京 2020 大会の終了に伴い、冊子配布を終了する。年度末までに一部を電子化し、掲載する。

○ 新規掲載コンテンツ

本年度行うオンラインイベント（下記参照）に関連する教材やディスカッションのスキルを身に付けるための動画、インタビューに使える質問方法を解説した動画などもワークシートとともに順次掲載する。

コミュニケーションに役立つ動画 <https://tec.metro.tokyo.lg.jp/materials/phrases/>

また、小学校第 1・2 学年向けの教材も新規開発し、公開予定である。

(2) オンラインイベント（3 イベントともオール・イングリッシュで実施）

海外・国内の大学の講義を受講する「バーチャル留学」、世界で活躍する人々から、世界で生き抜く術を聞く「LIVE TALK」、テーマに沿って、議論を行い提言を行う「高校生フォーラム」3 種のイベントを予定している。いずれのイベントも主に高校生を対象としているが、やる気のある中学生の参加も歓迎している。特に 10 月から年 5 回、5 人のゲストを迎えて実施を予定している「LIVE TALK」は世界で活躍するゲストから英語で体験を聞くことを中心とした内容であり、中学生も十分楽しむことのできる内容となっている。授業や部活動で英語を積極的に学び、世界に羽ばたこうとしている生徒にぜひ紹介してほしい。

2. その他 ～多摩地域における体験型英語学習施設の開設～

江東区青海の TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG) に続き、令和 4 年度中に J R 中央線立川駅より徒歩 8 分にある GREEN SPRINGS に体験型英語学習施設を整備する。詳しくは以下 HP 参照

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2021/release20210330_02.html

令和3年度・第74回英語学芸大会 概要

(今年度は集合開催、オンライン開催の2つの大会を1つのオンライン大会に統合して実施します)

1 開催期間

- (1) 応募期間 令和3年10月20日～11月20日
- (2) 審査発表 令和3年12月24日(予定)

2 ホームページ

令和3年度・第74回英語学芸大会公式ホームページはこちらです。

URL ▶ <https://sites.google.com/eigogakugeitakai2020.com/chueiken-jigyoubu/>

※正しく動作させるため、ブラウザはGoogleやGoogle Chromeをお使いください。



3 開催方式

ビデオ審査方式(動画データを公式ホームページ上のGoogle Formsにて提出いただきます)

4 目的

- (1) 英語によるスピーキング、プレイやパフォーマンスを通して、日頃の学習の成果を発表することで、互いに楽しく、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- (2) 帰国生徒においても海外で身につけた語学力や体験を発表して、一層自らの向上に努めるとともに、皆と協力して国際理解、国際親善、国際貢献の推進に貢献する。

5 主催 東京都中学校英語教育研究会(担当 事業部)

6 参加部門

- (1) Speaking の部……【制限時間2分・ビデオ編集は不可】
- (2) Play の部……【制限時間5分・ビデオ編集は可能】
- (3) Performance の部…【制限時間2分・ビデオ編集は可能】

※Performanceの部は第73回時に新設しました。自由な発想でご応募ください。

7 参加申込等

- ・各校の代表、合計4エントリーまで参加可。(但し、Playは1つのみ)
- ・参加はSpeakingにおいては、最大1人1エントリーとする。
- ※各地区の代表ではなく、各校の代表です。地区大会の開催の有無やその結果に関係なく、学校ごとに申込ができます。

8 表彰

- (1) Speaking の部……優秀者8名を入賞として、そのうちの1位、2位、3位を表彰する。
- (2) Play の部……優秀8団体を入賞として、そのうちの1位、2位、3位を表彰する。
- (3) Performance の部…順位づけはなし。参加賞(デジタル賞状等)を授与する場合あり。

9 皆様へのお願い

当初計画から変更して、集合開催、オンライン開催の2本立てをオンライン開催に統合しています。依然、不確定要素がありますが、今後も可能な範囲で生徒の活躍の場面を設定し、英語運用能力の向上、課題に立ち向かう姿勢や、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したく、皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。「東京都中学校英語教育研究会・英語学芸大会」の専用ホームページを立ち上げております。詳細はホームページにてご確認ください。

第45回 関東甲信地区中学校英語教育研究協議会茨城大会(オンライン)案内

- 主 題：グローバル社会を生き抜くために必要なコミュニケーション能力の育成
～伝え合う力を育むための段階的な指導等の工夫を通して～
- 期 日：令和3年11月12日(金)
- 実施方法：Zoom ウェビナーでの開催
※基調提案、公開授業・分科会、記念講演・指導助言は大会終了後動画配信
- 記念講演：「新学習指導要領における指導と評価」
- 講 師：文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室
教科調査官 山田 誠志 氏
- 分科会テーマ・提案都県(動画による提案 You Tubeによるストーリーミング配信)

第1分科会	小中連携の実践的な取組	千葉県・埼玉県
第2・3分科会	話すこと(発表)の言語活動の工夫	群馬県・栃木県
第4分科会	即興で伝え合う力を育む指導の工夫	長野県・山梨県
第5分科会	パフォーマンス評価を活かしたコミュニケーション活動の工夫	神奈川県・東京都

詳細は、下記大会ホームページにてご確認ください。

大会 HP
アドレス

https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kanburo45_ibaraki/



中英研各部サマワーワークショップ 報告

第18回 研究部ワークショップ

- 日 時：第1回 令和3年8月3日（火）13：00～16：10（Zoomによる開催）
第2回 令和3年8月5日（木）13：00～16：10（Zoomによる開催）
- 内容・発表者

第1回	①「スモールステップで行うやり取りの指導の工夫」	橋本 晋作（渋谷区立松濤中学校）
	②「学年別による帯活動のその効果」 ～北原延晃先生の活動の追試～	能美 真弓（荒川区立第三中学校）
	③「1つの単元における指導から評価まで」	太田 裕也（品川区立鈴ヶ森中学校）
第2回	①「5ラウンド指導法 Part 1」	森沢 俊彦（町田市立真光寺中学校）
	②「チャットからディベートへ」	高杉 達也（都立小石川中等教育学校）
	③「リテリング～スタートから応用も含めて～」	前田 宏美（港区立港南中学校）

2年振りの「研究部ワークショップ」はオンラインで実施された。申込開始1週間足らずで両日とも70名の定員が一杯となった。2日間で6名の研究部員が、授業展開、言語活動の展開、語彙指導等について実践発表を行った。オンラインによる制約がある中で、ブレイクアウトセッション、チャットを使い、発表者と参加者とが双方向の研修を行うことができた。

研究冊子「語いと英語教育」については、年度末の発行に向けて毎月の部会で研究を進めているところである。

研究部部長 浜内 明（文京区立本郷台中学校）

調査部「オンライン夏期ワークショップ」

- 日 時：令和3年8月20日（金）13：30～16：30（Zoomによる開催）
- 内容等

第1部	講義：「新学習指導要領を踏まえた『コミュニカティブテスト』づくり」 講師：千代田区立九段中等教育学校 講師 本多 敏幸 先生
第2部	テストづくりワークショップ（視聴） 部員が作成した問題の発表と講師助言 講師：玉川大学文学部英語教育学科 教授 工藤 洋路 先生 千代田区立九段中等教育学校 講師 本多 敏幸 先生

第1部は、新学習指導要領の観点に基づいたテスト作りについて押さえておくべきポイントについて、本多先生より御講義いただいた。第2部は調査部員がこの1学期に各校で実施した考查問題について、本多先生、工藤先生より評価観点に見合っているか、また改善するにはどうしたら良いか御助言をいただいた。実際の考查問題を題材にすることで、「この力を測りたいときはどう問えば良いか」を具体的に考えることができた。（参加者は一般参加が28名、調査部員が15名）

調査部部長 荒川 高広（千代田区立九段中等教育学校）

お知らせ

都中英研HPでは、各部の活動や研修会等のお知らせをご覧いただけます。本誌「都中英研だより」や年報である「中英研会報」の閲覧も可能です。また、Facebookでは、利用者間相互のコミュニケーションも可能です。ぜひご活用ください。

<http://www.chueiken-tokyo.org/>

<https://www.facebook.com/chueiken.tokyo/>

※ Facebook はフェイスブック株式会社の登録商標です。



都中英研HP



Facebook

編集後記

「都中英研だより 第75号」をお送りいたします。昨年度、多くの研修会や研究発表会が、感染症拡大防止のため中止となりました。この1年の間に、様々な方法が模索され、今年度は、「オンライン」を活用した研修会の企画を多く見るようになっていきます。今できることを、今できる形で、都中英研も先生方のお役に立てるよう、様々な情報の発信に努めてまいります。ご多用の中、発行に際し、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

本誌に関する
お問い合わせ先

都中英研出版部長 今本 由美子（立川市立立川第三中学校 校長）
TEL：042-523-4348 FAX：042-529-1015